

ふれあいのまち



松原かわら版

世帯数 1,301 戸
人口 2,963 人
高齢化率(65歳以上) 30.2%
(令和7年12月1日現在)

新年の「ごあいさつ」

松原地区町会連合会会長 田中 寿穂

みなさま、新しい年を気持ちも新たに迎えられたことと思います。

令和7年度、松原地区町会連合会の会長を初めてお預かりした田中寿穂です。今年もどうぞよろしく願っています。

正直なところ「連合会長なんて大役私に務まるだろうか」と不安でいっぱいだった。しかし、理事メンバーの多くが2年目に入り、段取りや地域事情もご存知でしたので、要所所で先回りして動いてくださり、私はずいぶん助けられました。この場を借りて改めて感謝いたします。

さて、令和7年度はイベントづくしの一年でした。

●7月20日 参議院議員選挙

投票所の設営や誘導など、早朝から夜遅くまでの運営を町会全体でサポートしました。皆様のご協力の元、お陰様で投票率も前回を上回る状況でした。

●民生委員・児童委員の改選(3年ごと)

高齢者の見守りや子育て相談の最前線を担うみなさんを、地域ぐるみで選出。顔なじみの委員さんが再任されたり、新任の方も快くお引き受けいただき感謝しております。

●国勢調査(5年ごと)

調査員さんが歩く姿があちこちで見られ、「大変ですね。ご苦労さま!」と

あいさつが飛び交う、そんな温かい光景も松原らしさですね。

●7月26日 第32回いいづら祭

今年は酷暑が心配で、急きょミストマシンを3台購入。ところが当日は午後に恵みの大雨!式典前には雨がビタリとやみ、気温もぐっと下がりました。自然の力と備えの両方が功を奏し、誰一人熱中症を出さずに無事終了。老若男女、沢山の来場をいただきました。

●9月 自主防災講座(全3回)

昨年から「防災強化」の流れを継続。家具転倒防止の実演や簡易トイレづくりなど、参加者から「自助を真剣に考える」の声が多数上がりました。

●11月8日 松原地区総合防災訓練

地域の消防団・自主防災組織・中学校・地区公民館が一堂に会し、想定外のトラブルも「学び」に変えた一日。年々、連携がスムーズになっていきます。

こうして振り返ると、松原地区は「やればできる」「やるならみんな」の精神が本心に強くと感じます。高齢化率は3割に達しましたが、だからこそ「声かけ一声」の力がますます大切で、子どもからシニアまで、誰もが顔見知りになれる町、それを目指して、今年も一歩ずつ取り組んでまいります。

最後になりましたが、本年が皆さまにとって健康で笑顔あふれる一年となりますよう心よりお祈りいたします。変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。

令和8年 元旦

2025年松原地区 総合防災訓練報告

松原地区町会連合会事務局長 新保 俊尚

11月8日(土) 8時30分から、総合防災訓練を実施しました。当日は、8時30分になっても訓練の地震発生時の防災無線放送が流れず、急遽町内放送で防災訓練の放送をさせていただきました。このようなトラブルがあったにも関わらず大勢の町会員の皆様に防災訓練に参加いただきありがとうございました。

第1部として班別安全確認に始まり、町会別安全確認訓練および一時集合場所での町会別訓練、第2部では指定避難所における避難所開設運営訓練を実施しました。第1部では、松原地区のほぼ全町会員世帯に参加していただき、ある程度スムーズな安全確認ができました。

きました。一時集合場所での町会別訓練では、簡易トイレの訓練、発電機の始動と照明点灯訓練を実施したところがありました。第2部では昨年同様、避難行動要支援者優先の指定避難所である地区公民館と、一般者の指定避難所である明善中学校を同時並行で開設しました。公民館には避難者31名、活動班25名、中学生9名計65名が参加、中学校には、避難者活動班合計114名が参加してくださいました。

避難所運営訓練のメインは、各活動班による避難所開設訓練です。特に中学校では、避難者受付担当の7町会と、感染者受付担当の6町会には、開設の最初から準備していただきスムーズな避難者の受付ができました。居住組の訓練としては、昨年同様

①非常用トイレ組立および模擬使用訓練
②ダンボールベッド組立およびパ

ーティションを使ったコロナ対応レイアウト作成訓練
その他、中学ではトイレ用パナソニックの組み立て、公民館では災害対策用プライバシータームの組み立てを行いました。

昨年の反省に基づき、中学では学校のジェットヒーターをお借りして、体育館を温めて実施できたので寒さを気にせず訓練ができました。公民館では、受付名簿に要支援者と付添人の両方の氏名を記入する欄を設けスムーズに受付をすることができました。

参加者からは、パナソニックはちょうどよい大きさなので、トイレ用だけでなく着替え用とかに欲しい、簡易トイレはひび割れのついた介護用のしつかりしたタイプが欲しいとの要望があり、本番に備えて順次整えていきたいと考えています。

その他たくさんの方の反省点・要望点・改善点が出てきましたので、毎年その反省点を活かしながら、いざというときに困らない避難所体制を地域の力で作っていききたいと思っています。

さらに、松原の場合は自宅避難者が大半になると考えられますので、自宅避難者への救済物資の配布・連絡体制について引き続き検討を進めていきます。

——避難行動要支援者優先の指定避難所：松原地区公民館——



一般者の指定避難所：明善中学校



町会の
できごと

第3町会

9月15日(月)町内公民館にて敬老祝賀会が開催されました。

例年松原地区町会連合会で開催していた敬老祝賀会の対象人数が多く、本年度中止となりました。第3町会として、



会員の健康維持と親睦をはかる為、市の記念品配布と、会食をかねた敬老祝賀会を開催しました。

現在第3町会には、後期高齢者は98名、うち町会加入者61名がおります。敬老の日をお祝いする対象者も確実に増えていく中で、町会の皆さんにも関心を持っていただき、高齢者皆さんの住みやすい街づくりの為に、敬老祝賀会を続ける事が重要と考えます。

「国民の祝日と定められた趣旨は、長年社会に貢献してきた老人を敬愛し、長寿を祝う事を目的として設定されたとのことです。」(編集委員)

第5町会

9月23日(火)松原地区公民館にて5町会主催の松本山雅FC健康運動教室が開催されました。

当日は参加者20名(大人18名、子供2名)と松本山雅FCから講師を迎えて行われました。

タオルやボールを使ったゲーム感覚でできる体操で、途中からは参加者同士でペアになり協力してボールを同時に投げて拾う遊びをしました。最後は全員で棒を使って相手ゴールを狙う棒サッカーを行いました。大人も子供も大盛り上がりでした。



参加者からは「身体だけでなく頭も鍛えられ愉しかった」と好評でした。(編集委員)

まつばらのできごと

11/15 環境防災講座

松原地区の宮澤信氏を講師にお招きし、気象災害等の講話を受けた後、エコネットまつもとのご協力により数多くの体験ブースを設け、楽しみながら環境について考えるきっかけとなりました。



ソーラーカー



発電自転車



ウッドガスストーブで焼きマシュマロ



デジタル地球儀「スワイア」

11/18 焼き芋大会

地域の方から頂いたお芋を小分けにし、約200人分用意した

焼き芋は早々に品切れになりました。楽しく美味しく頂き、地域の皆さんに感謝した1日でした。



11/20 音の花束コンサート

内田・寿台・松原地区の各地区の行事に、ボランティアとして協力してくれた明善中学生の皆さんへ、お礼の意味を込め演奏会をプレゼントしました。



11/27 松原料理講習会

松原地区食生活改善推進員による料理講習会が開催され、今回は初めてご参加される方も多く、和気あいあいと料理と食事を楽しみました。



16年前に松原住民になった当時、松原はまだまだ若い街という印象だったように思う。松原は昭和53年に宅地開発されたそう。当時は比較的若い世帯が多い地域であったろう。それから50年近く経ち、広い世代の方が住むようになり、熟成した地区となってきたのだと、あらためて理解した次第である。

(編集委員)

日本の高齢化率は総務省統計局の資料によると令和7年9月時点で29.4%だそう。世界最高の高齢化率である。また、令和7年4月の長野県の高齢化率は33.2%、令和7年10月の松本市の高齢化率は28.7%である。くらべてみると松原地区は、今では「日本と松本市の高齢化率を超えている」ということがわかった。

「松原から版」の題字下に松原地区の「高齢化率」が載っているのをご存じだろうか。高齢化率とは人口に占める65歳以上の人口である。11月30日号の編集時、松原地区の高齢化率が30%を超えたこと知り、興味を覚え早速調べてみた。



「松原から版」の題字下に松原地区の「高齢化率」が載っているのをご存じ